

経営近況報告会

2025年12月23日



© 2025 Jorudan Co.,Ltd.

LLMの登場

2022/11	OpenAI ChatGPT の登場
2023/03	OpenAI GPT4 公開 Google Bard 公開
2025/11	Google Gemini3 公開 OpenAI GPT-5.1,GPT Image1.5

※ Anthropic,Meta,Alibaba等も公開

※オープンソースモデルも普及

この50年の変化は、歴史上にも例がない

1) コンピュータの登場

「計算・処理を人から機械へ」

Apple, Microsoftの誕生

2) インターネットの普及

「情報を探す時代へ」

GAFA(Google, Apple, Facebook, Amazon)

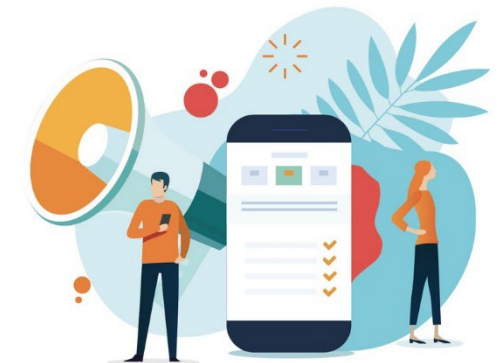
インターネットとデジタル社会を牽引

3) スマートフォンの登場

「いつでも・どこでも使う時代へ」

4) 生成AI (LLM) の登場

「探す時代から、伝える時代へ」



検索 単語から文に

<検索単語>

京都 紅葉 見頃 混雑 少ない

↓

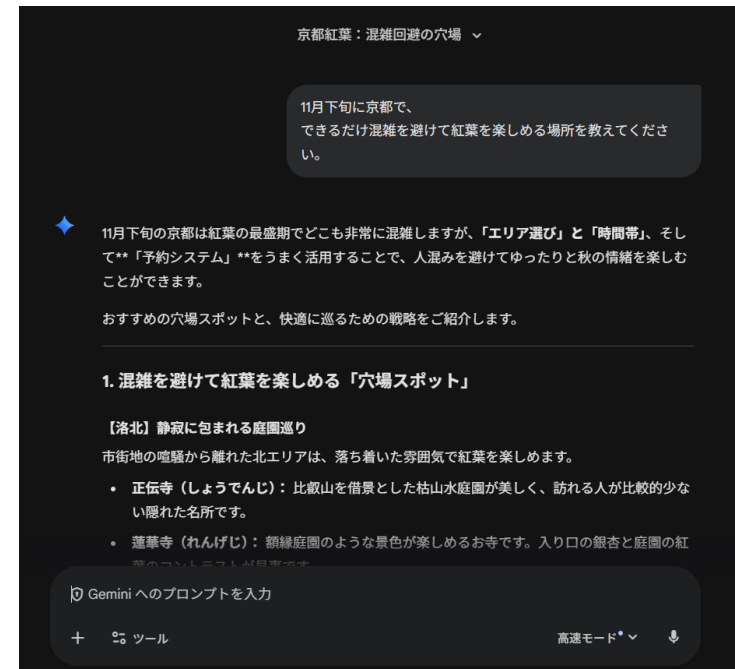
<AIへのプロンプト>

11月下旬に京都で、
できるだけ混雑を避けて紅葉を楽しめる場所を
教えてください。

「正しい単語を入力できる人が有利」

↓

「やりたいことを言葉にできる人が有利」



Geminiに質問した結果

移動はどう変わるのか

1) コンピュータを使った移動

「経路を検索する」

2) インターネット時代の移動

時刻表のデジタル化

3) スマートフォン時代の移動

「移動が行動と一体化する」 MaaS

4) 生成AI (LLM) 時代の移動

「移動を相談する」



競合の構図

1) Google

Google経済圏ですべて完結 (Map+Mail+Calendar)

2) OpenAI

秘書 (OS+Agent)

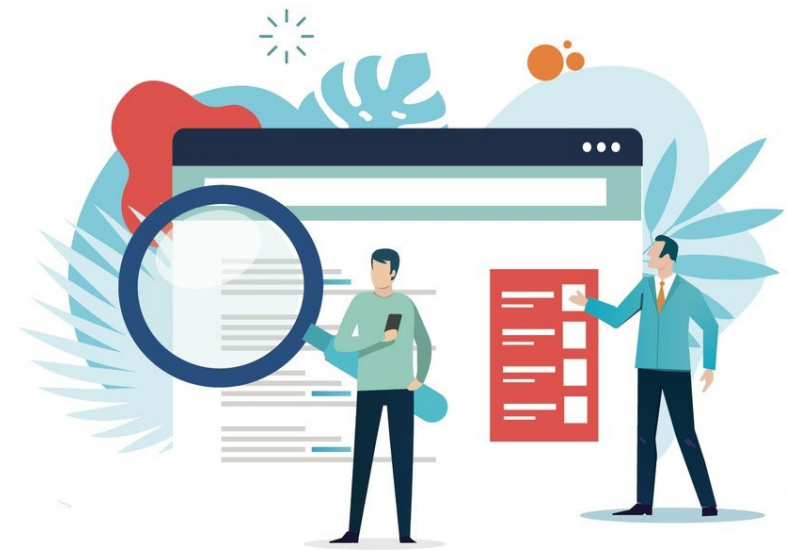
3) Jorudan

MaaSを軸に (スマホ+改札+デバイス)



ジョルダンのこれから

- 1) 乗換案内をより便利に
- 2) AIをどんどん取り込んでいく
- 3) 交通事業者との関係をさらに強化
- 4) ハードウェアとの連携を進める
- 5) 過疎化、高齢化での移動を便利に
- 6) 持てる資産を軸に新たなチャレンジも



ご報告内容

- 以下の内容についてご説明いたします。

- ・ モバイルチケット全体のご説明

特に、認証方法の変遷や取り組んでいる内容

- ・ 予約在庫システム「ReservNation」について

**JORUDAN
MOBILE
TICKET**
ジョルダンモバイルチケット

 **ReservNation**

MaaS関連

モバイルチケットについて

■ モバイルチケットに関するこれまでの取り組み

- ・ 2019/8 に第一弾「とよた1DAYパス」「ENJOYとよたパス」を提供開始。

「乗換案内の利用者（当時3,000万ダウンロード、現在5,400万ダウンロード）に直接訴求できる」

→事業者様による新規アプリの開発が不要である点をご評価いただく

→多くの利用者様にとって新規アプリのダウンロードが不要で、利用に向けたハードルも低い

その他、以下のような点が特長

「アプリ自体が多言語対応しており、多言語対応も容易」

「乗車券だけでなく、施設様引換券やクーポンもセットにした販売、利用、集計が可能」

「アプリケーションでコントロールするため、スクリーンショット防止などセキュリティが高い」

「事業者様向け管理画面にて、集計だけでなく利用者様の動きなども確認可能」



現在実際に販売している（休止・停止を除く）実績でも、「95事業者 231券種」を展開中。

→うち8割程度の事業者様にて、多言語のチケットも展開。

MaaS関連

モバイルチケットについて

■ モバイルチケットの認証手段1：目視確認・手動消し込み

・ 有人改札、乗務員様による目視確認

日時を表示した、アニメーションするチケットをご提供。
施設様向けには、数字を入力することによる消し込みや「はい/いいえ」による消し込みも提供

チケットは、「1回限り」のものや「施設券」「クーポン券」のみならず、定期券にも対応

2023/3より、東京バス沖縄営業所様にて通勤定期券のデジタル化を開始。
2023/9より、いすみ鉄道様にて通勤定期券のデジタル化を開始。
2024/8より、いすみ鉄道様にて通学定期券のデジタル化（申請・利用）を開始。
2025/5より、八条町営バス様にて通学定期券のデジタル化（申請・利用）を開始。

他社基盤との接続・連携も実施

2021/10～2024/3 みちのりホールディングス様「みちのりMaaS」との連携
2022/4～当社サービス「ジオルダンクーポン」を經由し、グッドフェローズ様
「チケットHUB」との連携を開始。

現在「沖縄美ら海水族館」様などのチケットを、バスのチケットとセットで販売



MaaS関連

モバイルチケットについて

■ モバイルチケットの認証手段2：機械による読み取り・消し込み（これまで）

- ・ 自社開発のQRコードを、スマートフォン型読み取り機で読み取る機構も投入

2021/10～ 京浜急行様向けMaaS基盤で導入（Webチケット型）

2021/11～2022/2 大阪モノレール様にて実証実験。2022/4～2025/3まで本運用

- ・ 2024/6にはゆいレール様にて、直接改札通過できるチケットを本格導入

日本信号様との連携により、当社チケットによる改札通過を実現。
QRコード表示時に端末のNFC機能を無効化することで、ICカードとの二重引き去りのトラブルを防止



MaaS関連

モバイルチケットについて

- モバイルチケットの認証手段2：機械による読み取り・消し込み（2025年度）
 - ・ 「八重山観光MaaS推進事業」が、国土交通省「日本版 MaaS 推進・支援事業」に採択
「コンタクトレス決済端末を活用したチケット認証」の本運用に向けて開発進行中
 - ・ 「2025年度日本版MaaS推進・支援事業」の2次公募にて、「宮古島MaaS推進事業」「南城市MaaS推進事業」が採択

「八重山観光MaaS推進事業」の横展開として、「コンタクトレス決済端末を活用したチケット認証」を展開予定

我々が築いてきたMaaSモデルは実証実験的な一過性の取り組みとは考えておらず、そのまま継続できるように組み立てを行なってまいります。

単なるチケット造成ではなく、自治体、事業者と伴走しながら継続的に取り組んでおります。

MaaS関連

モバイルチケットについて

■ モバイルチケットの認証手段：今後

- ・ 今後の対応方針

「認証機構」はあくまでも手段であるため、事業者様にとってメリットが最大化される手段との連携を積極的に進めてまいります。

- ・ 複数の取り組みが進行中

発表できる段階になり次第、随時プレスリリース等でご報告いたします。

- ・ 取扱増に向けた取り組み

「売れるチケット」を増やすことも重要です。
地域を足で回り、「ありモノの組み合わせ」ではない細やかな企画を進めてまいります。

MaaS関連

予約在庫システム「ReservNation」について

■ 「ReservNation」とは



- ・ 鉄道・バス・フェリー等の定時定路線の予約から、シェアオフィス等の施設予約まで対応した予約在庫管理サービス
- ・ 決済を「即時決済」だけでなく「オーソリ決済」も選択できるようにすることで、実際の利用までの間の一定範囲の変更を手数料無料で実施可能

また、悪天候時の一斉キャンセル等にも対応するなど、事業者様、施設様のニーズに応えたクラウド型サービスとしてご評価いただいております。

MaaS関連

予約在庫システム「ReservNation」について

■ 「ReservNation」の実績と今後

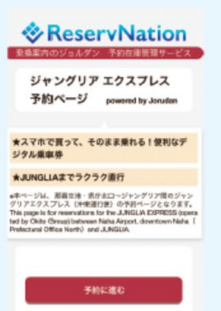
- ・ 現在継続中のサービス（主なもの）

小湊鉄道様 トロッコ列車（観光列車 座席予約）
ジャングリア様 シャトルバス「ジャングリア エクスプレス（沖東運行便）」予約
京浜急行様 オープントップバス予約（観光バス 座席予約）

京浜急行様 三浦半島電動自転車「SEA-Bike」予約
京浜急行様 貸しスペース「タイニーハウス」予約
京浜急行様 コワーキングスペース予約

「ジャングリア エクスプレス」に 予約在庫管理サービス「ReservNation」を提供

那覇市内から「ジャングリア沖縄」への直行シャトルバス「ジャングリア エクスプレス」（沖東運行便）の予約受付に、当社の予約在庫管理サービス「ReservNation（リザーブネーション）^(注)」を提供しました。これにより、旅行者は「ジャングリア エクスプレス」をオンラインで事前予約・購入でき、事業者は24時間リアルタイムで席数や予約の管理ができます。当社は今後も交通・観光分野におけるデジタル化を推進していきます。
※ReservNation：クラウド型の予約・在庫管理サービスで、予約受付・決済・在庫管理・顧客管理を一元化できるのが特長。鉄道、バス、観光施設など多岐にわたる業態で導入中



引き続き提案を強化し、ご利用施設の増加に取り組んでまいります。

KUUBE

スマートシティハブ



KUUBE

100%KUUBE デザイン



100%KUUBE デザイン

ハンガリーの KUUBE 社がデザインと製造を一体で開発して生まれたベンチ。
フレーム、カバーガラス、ソーラーパネル、電子機器も全てハンガリーのトップ企業と共に開発。
2025 年日本国内でデビューしました。

導入の利点

- ・ 多目的に利用できる地域グリーンエネルギー発電
- ・ 電動キックボードや自転車の充電、公共施設への電力供給など一般の人々には便利な機能
- ・ オーナーにはデータを提供するミーティング・ポイント付き
- ・ 安全なソーラーシステムは、公共スペースでも稼働可
- ・ オフグリッド：グリッド接続は不要
- ・ 素早く簡単な取り付け
- ・ 機器の性能と動作はモバイルアプリで監視可

KUUBE 利用について

1.USBコネクタによる充電



充電時用のUSB接続ポートが2つ搭載されています。
※データ転送には対応していません。

2.ワイヤレス技術による充電



充電時用のワイヤレス (Qi) 充電器が搭載されています。
※データ転送には対応していません。

3.ワイヤレスインターネット接続



Kuube Plusは、20mの範囲でWi-Fi接続機能を備えています。
お使いのスマートフォン等でWi-Fiを有効にし、スマートベンチのホットスポットを選択して接続してください。

4.ナイトライティング



スマートベンチに内蔵されたRGB LED照明はタイマー付きで自動的に動作。

5.ディスプレイ表示と環境データ

Kuube Plusは、座面の右端にディスプレイを搭載。

バッテリー残量	空気質	湿度	温度	UV放射
100%	megfelelő	46%	19°C	alacsony

6.内蔵冷却機能



快適な仕様を確保するため、スマートベンチには内部ファンが搭載されており、設定された温度に達すると自動的に冷却を開始します。ユーザーによる操作や調整は一切不要です。

7.管理機能 (管理画面)

Kuubeの状態管理、搭載環境センサーの確認を遠隔で行うための管理画面をご提供します。



KUUBE

ユースケース（平時・日中）

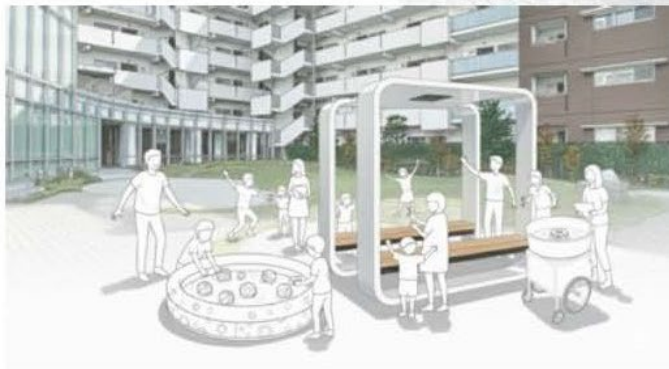
「交流」の生まれる空間へ

生活空間にオシャレな番地を設置することで、往来が滞留する空間を、「留まる場所」へ。

屋根付きベンチ（KUUBEプラス）と屋根なしベンチ（KUUBEエコ・ナノ）の併用で空間のUXを再設計することが可能。



イメージ参考：シャレール西ヶ原（東京都北区）



KUUBE

ユースケース（平時・夜間）

夜間でも「明るく、安心。」

夜間でもEDライトが足元を明るく照らすことができ、色も調整が可能であるため、防犯色のブルーから、温かな暖色まで、様々な色でのライトアップが可能。



イメージ参考：シャレール西ヶ原（東京都北区）



実際のライトアップ時→

KUUBE

ユースケース（有事・夜間）

災害時の停電など、 電気供給が遮断された際に活躍

ソーラーパネル&内蔵バッテリーにより停電時でもライトアップが可能。

また、USB充電（24w）も可能で、日中に発電した電力で各種機器の充電や、夜間災害時の一時集合拠点としても活躍が期待できる。

独立充電 → 電力供給

停電時の「灯り確保」

住民のスマホ&各種機器充電



KUUBE

平時・有事、比較

POINT

- スマートベンチの設置により、「災害時に強い団地形成」を後押し
- 平時は住民。有事は非常電源として活用することで、道の駅利用者や近隣住民の方に、いつでも「安全」・「安心」をお届け



J-STAND

J-STANDとは

J-STANDは、ジオルダンとジェイ・キャストが提供する、新聞社様や出版社様が、記事をコンパクトなパッケージにして少額で販売できる、月額課金のサブスクリプションサービスです。



J-STAND

メディアの抱える課題

- 広告モデルの危機
- メディアの多様化による滞在時間減少

広告モデルの危機



従来の収益源が不安定化

メディアの多様化による滞在時間減少



ユーザーの可処分時間の
奪い合いが激化

J-STAND

J-STANDが提示する解決策

- 広告なし有料課金モデル
- 移動時間に最適なボリューム

広告なし有料課金モデル



安定した収益と
良質な読書体験を提供

移動時間に最適なボリューム



隙間時間に完結する
手軽さを実現

J-STAND

なぜジョルダンなのか

- 乗換案内を長年提供してきた実績
- 通勤時など、移動時間にプッシュすることで朝刊・夕刊のように習慣化したい



J-STAND

想定する利用シーン

- 乗換案内の利用が増える通勤時の朝刊配信や、帰宅時の夕刊配信を想定
- ジョルダンが運営するMAU1500万人の経路検索サービス「乗換案内」と連携した利用者獲得も狙う

朝刊



夕刊



- ・ MAU1500万人の利用者
- ・ アプリダウンロード数 5,400万

J-STAND

想定する利用シーン

- 趣味のジャンルや、地方のニュースなど様々な記事コンテンツを販売



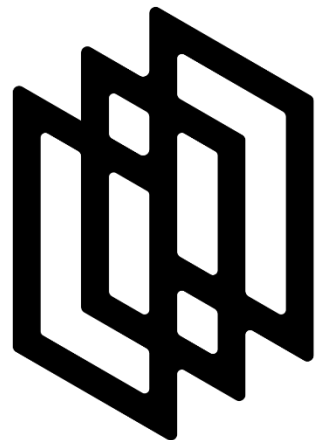
- ・コンパクトなサイズ
- ・手頃な価格
- ・簡単な手続き

で提供できるプラットフォームを目指します。

J-STAND

J-STANDの状況

- プラットフォーム構築中
- ジェイ・キャストと共同で新聞各社に営業中



J-STAND



本報告会及び本資料における業界の動向や分析、及び今後の見通し、戦略等は、現在入手可能な情報から弊社の経営者が判断したものでありますが、様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することもあり得ます。

従いまして、将来の戦略及び業績等につきまして本報告会及び本資料の内容と大きく異なる可能性がございますことをご了承ください。

本日は誠にありがとうございました。

皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Web上のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.jorudan.co.jp/ir/>